

文章分析で 人材、組織、市場を 読み解く

(株)シードウィン <http://www.seedwin.co.jp>
info@seedwin.co.jp
サテライトオフィス phone(0463)60-2244
センターオフィス phone(03)5843-7365

言葉を素材にした分析
新しいモノサシを活用してください。

文章分析は言葉を素材にした分析です
数値分析と同じように分析ができるようになっています。

文章分析は、現状認識の手助けはもちろん、
次へ進めていく意思決定のための材料になっています。

人材を対象にして分析

◆ 1人の1つの文章を分析すれば

ベーシックな分析

- ・人材の表現力が数値で表されます。
- ・人材の職種傾向(適性)が表されます。
- ・人材の思考力等々が表されます。
- ・人物傾向が表されます。
- ・対人志向性が表されます。

◆ 1人の同時期の複数の文章を

分析すれば

- ・知識形成の材料が表されます。
- ・興味の構成が現れてきます。
(200種類ほどのカテゴリーの組合せで)

◆ 1人の複数の文章を

時系列で分析すれば

- ・意識変化が単語で表されます。
- ・ストレス荷重が測定されます。
- ・成長のスピードが表されます。

◆ 複数の人の

同じテーマの文章を分析すれば

- ・暗黙知と形式知が現れてきます。
- ・重点に置いている意識の差が現れます。
(異なる仕事への意識の差、
仕事とプライベートとの意識の差)

◆ 複数の人の

異なるテーマの文章を分析しても

- ・人と人との人間関係形成の可能性が現れてきます。
(同じテーマでも同じ結果がでます。)
- ・同一組織内の多数の人材であれば、組織分析の手がかりになります。
(文章テーマの構成によっては組織分析として実施出来ます。)

上記の分析目的の組み合わせで、組織改善 or 変革の手がかりが得られます。

文章をデータとして分析

文章作者(人材)を想定しないで分析

◆ 1つの文章を分析すれば

ベーシックな分析

- ・表現されている趣旨を抽出します。
- ・文章の中のキーワード群を抽出します。
- ・表現と思考の形式が目視できます。
- ・文章の趣旨に対して、
知識分野の構成が表されます。
- ・趣旨への論旨の整合性が表されます。

◆ 異なるテーマの

複数文章を分析すれば

- ・文章をカテゴリーに分類しています。
(約100種科学分野、約200種類の文化、
習慣、意識などの分野に分類)
- ・カテゴリーまたは単語での共通項を取り
出しています。
- ・文章間の意識の相関と相反を抽出します。

◆ 業務報告文を

マーケティングデータのように扱う

定期的に提出される業務報告が、「何々をした」だけでなく、「何々を見た」「何々が起こっていた」「何々を試してみた」「何々をこのように考えた」などが記されてあれば、マーケティングデータになります。社員全員をメーカーとしてとらえれば、日常的に膨大なマーケティングデータが集まります。

◆ 無作為に

蓄えられているデータベースから

外部文章、論文、資料、社内の文章データを分析して保管しておく、互いの相関、相関関係が把握できます。

これらの文章データベースから、趣旨、意図を書き込み、検索すると、趣旨、意図が類似したデータが取り出せます。

自社での、知識資産管理が手をかけずに整った形で実施できます。

文章分析は 組織内だけでも様々な目的で使われています。

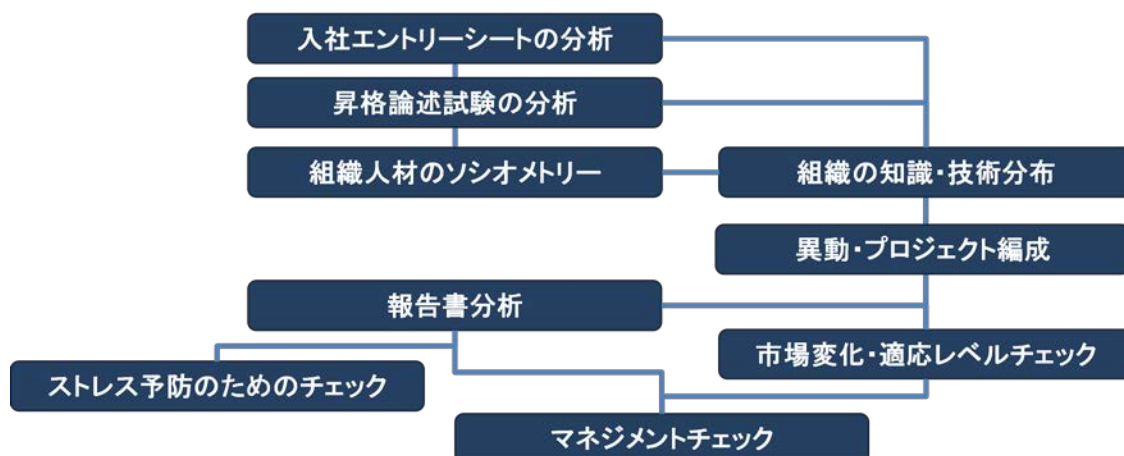
自社の特異（知識と技術、商品）、市場、顧客を明らかにして、常に最適化を計りましょう。
一つずつ行動解を求め、徐々により確かな成果をあげ続ける組織にしましょう。

文章は、知っている言葉を使って書かれています。知らない単語を使えないのは当然です。仮に知ったばかりの単語を使うと、文章のバランス、内容のバランスがずれてしまいます。得意とする範囲で、日常から考えるところを表せば、理路整然としてきます。だから、文章を読めば、作者の思考形態がつかめるのです。苦手なテーマであれば、拙くなります。得意なテーマであれば、熱がこもります。

気持ちを落ち着けて書いておれば、読みやすい文章になります。苛立っていたり、悩みや不安があれば、文体に現れてくるのも頷けます。喜怒哀楽などが文章に出てきます。若干の性格なども現れてきます。

文章分析では、思考性、姿勢、表現時の状態、視点を読み取っていきます。一作者の文章を、年月を追って分析していけば、意識の変化や、興味の移動などが分かるのは当然でしょう。また、ストレスを感じているとき、平静なときとの差も現れてきます。

それだけではありません。文章に使われている単語群や、単語の扱いによって、マーケティングなどの集計にも使われています。人材群の文章データを集めていけば、社内の知識傾向も分かるはずで。



企業活動は人材活動の集合体です。人材の知識・技術を活用した意識活動です。人材のすべてが目的に応じて、自らの能力を最大限に発揮してくれれば、企業成果は最大になるはずで。経営は、如何に、人材を最大に生かすかにかかってきます。人材を最大に生かす方法がマネジメント体系で、リーダーの役割です。

仕事に人を当てはめると、仕事によって人を強制すると、人の能力は半減します。特に知識をもって仕事をしている人たちにとっては、半減します。人に合った仕事を当てはめるのがもっとも理想的ですが、実現しにくいところがあります。現在では、役割に応じて、個人の方法を重視するようになっていきました。分析対象は、人材、組織、市場で、マネジメントの最適化バランスを図ろうとしているのが、セミナー及びコンサルティング視点です。

日々、知識と情報のきっかけをお届けしています。

- 今日のテーマ 140字前後で、「考えてみよう」と題してテーマを提供しています。土日祝日を除く月曜から金曜日の毎朝更新しています。弊社トップページ <http://www.seedwin.co.jp> 中央にあります。
- Management BLOG『最大成果を宣言 ちょっと頑張ろう』を展開しています。土日祝日を除く月曜から金曜日の毎朝更新しています。弊社トップページ <http://www.seedwin.co.jp>
- 人文組織工学 人と組織の社会について、文章分析の視点からまとめつつあります。
- 社会人へのレポート 定期で更新しています。中でも明治維新からの年表は参考になるのでは。